

プラズマエレクトロニクス分科会企画

# プラズマ医療科学の最前線

2015年9月14日(月) 13時30分～18時

会場：1号館4階 1F会場

生体組織への非平衡大気圧プラズマ照射による癌細胞死滅や皮膚疾患治療をはじめとする画期的な効果が見いだされ、革新的医療技術としてのプラズマ応用の実現へ向けた医工連携による研究が進められています。本シンポジウムでは、工学、医学、分子生物学の立場から、最新のプラズマ医療科学の成果や展望について講演いただきます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

## 招待講演

講演者	所属	講演題目
堀 勝	名大	プラズマ医療科学の現状と課題
節原裕一	阪大	プラズマ医療装置に求められている要素と世界動向
近藤 隆	富山大	大気圧プラズマによる活性酸素生成と細胞応答
水野 彰	豊橋技科大	プラズマと生体との分子生物学的相互作用
吉川史隆	名大	大気圧プラズマの癌治療への応用
平田孝道	東京都市大	大気圧プラズマの照射 / 吸入による疾患治療と救急救命医療
金子俊郎	東北大	非平衡大気圧プラズマ刺激による新作用機序遺伝子導入
池原 譲	産総研	プラズマによる止血メカニズムの解明とその実用化に向けた取り組み
豊國伸哉	名大	酸化ストレスからみたプラズマ医療科学への期待